



# 個人投資家様向け会社説明会

## — 製紙の枠を超える！ —

2025年 12月 8日

王子ホールディングス株式会社 (証券コード: 3861)

代表取締役副社長執行役員 CSO

鎌田 和彦

## 1. 株主還元

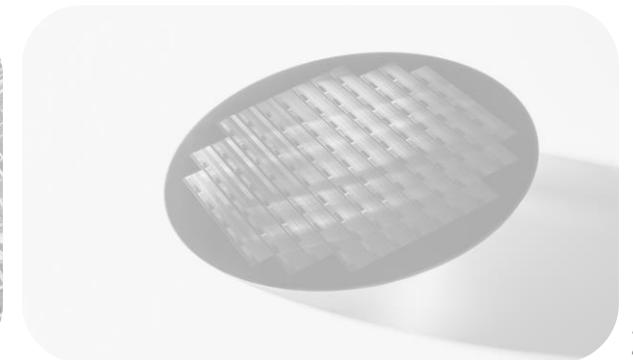
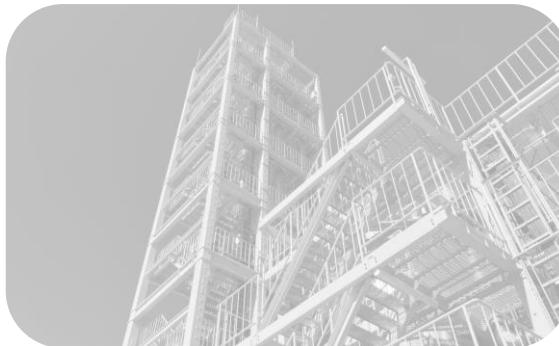


## 2. 王子ホールディングスご紹介



出典：国立国会図書館「近代日本人の肖像」

## 3. 成長戦略



【3ヶ月】  
王子ネピア 商品カタログギフト  
販売価格4,180円相当

1,000株以上

※半年以上継続保有



※内容は本年度実施分

【9ヶ月】

5,000株以上

①植林活動応援イベント



②王子ホール主催コンサートご招待（抽選）  
(銀座本社本館ビル内)



## 配当金

自己資本の適正レベルを勘案し、配当方針を見直し

### 配当性向

2025年度より、**50%**へ引き上げ（従来30%）

※配当性向は資産売却等の資産スリム化に伴う損益を含む  
親会社株主に帰属する当期純利益ベース

### 1株当たり配当額

2024年度 24円/株

→ 2025年度（予想）**36円/株**  
**（中間配当 18円/株）**

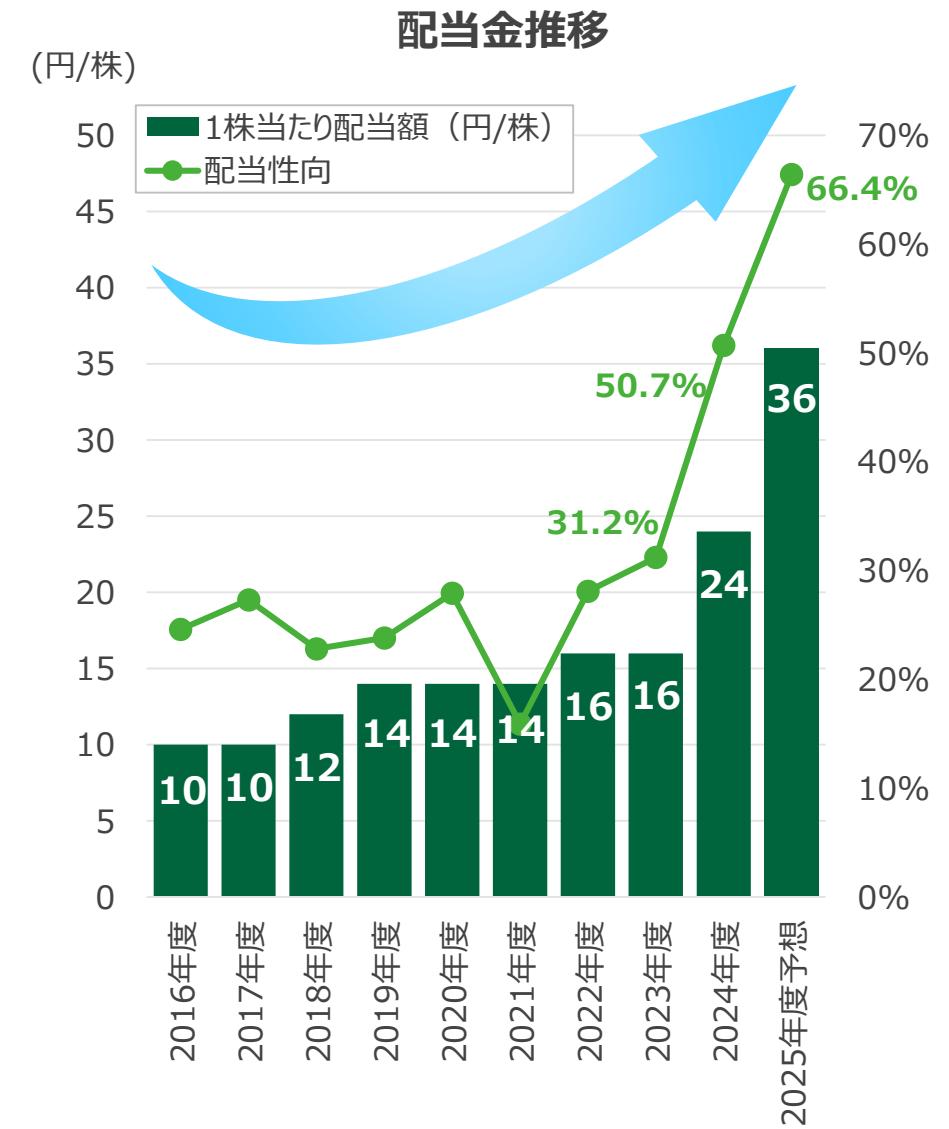
※2025年度業績予想の変更に伴う配当予想の変更なし

### 配当利回り

配当 **4.45%**

優待 + 配当 **4.97%**

※12/5終値ベース  
優待分は1,000株で算出



## 自己株式取得

### 自己資本の圧縮のため、自己株式取得を強化

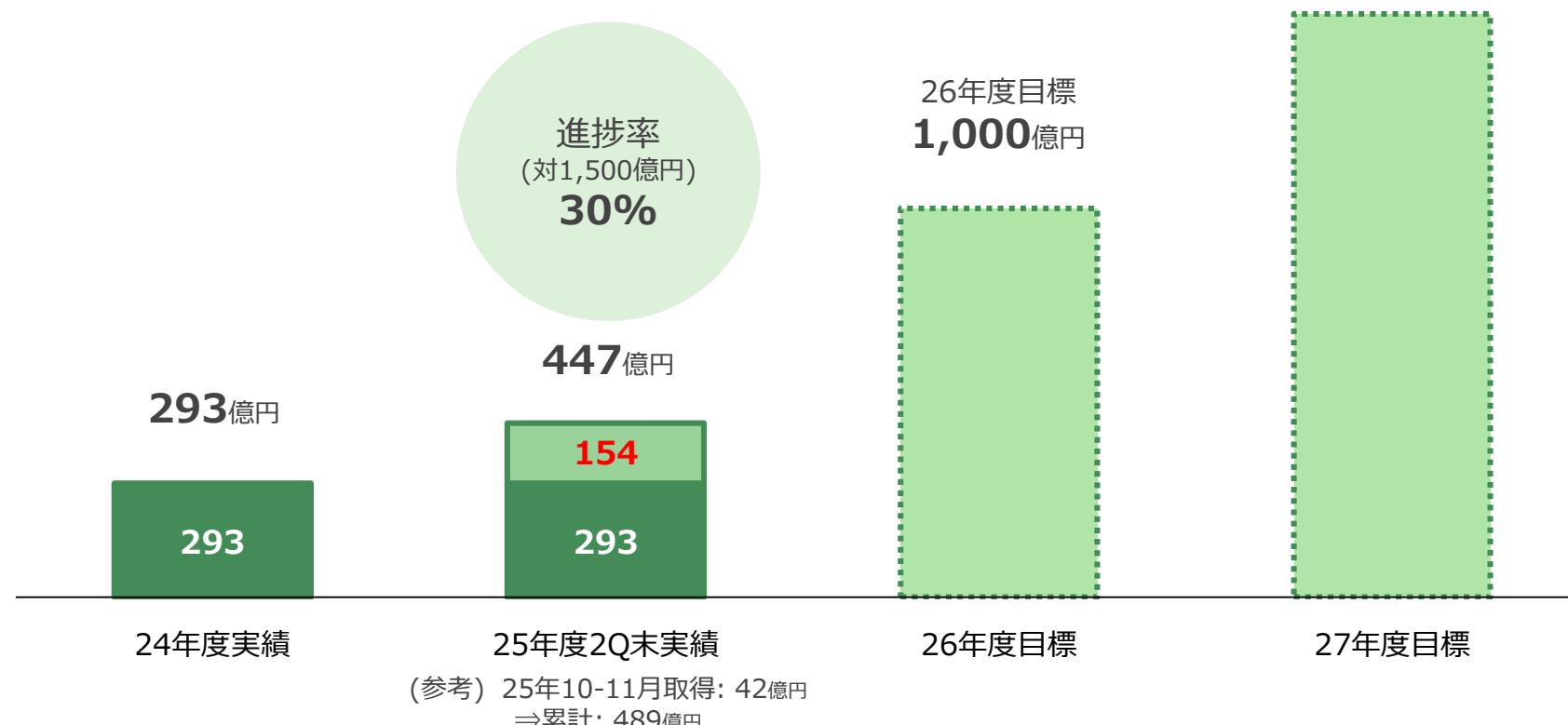
2024～2027年度で**1,500億円**の自己株式取得を実施

※定期的な実施に主眼を置かず、株価、流動性、資本市場の動向も  
勘案しながら、機動的に実施することを想定

**総還元性向(配当+自己株式取得) 165.5%**

※24年度決議 自己株式取得500億円完了時で試算

目標  
(24～27年度累計)  
**1,500億円**



## 1. 株主還元

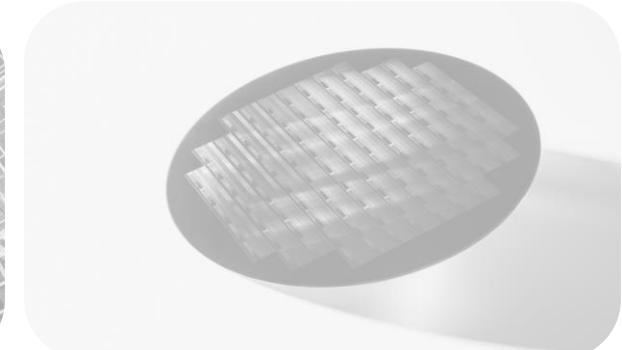
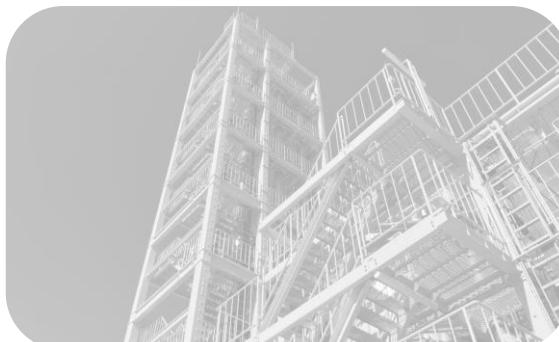


## 2. 王子ホールディングスご紹介



出典：国立国会図書館「近代日本人の肖像」

## 3. 成長戦略



## グローバル展開

紙パルプ関連売上高  
**世界 5位 日本 1位**  
(2023年度実績)

2024年度 連結売上高  
**1兆8493億円**  
海外売上高比率 40.8%

連結従業員数  
**39,136人**  
海外従業員比率 58.5%

海外拠点所在国数  
**24か国**

## 欧州

**1,379億円**  
(生産拠点 19)

**東南アジア・インド**

**2,615億円** (生産拠点 57)

**1873年**  
**渋沢栄一**

の提唱により、  
抄紙会社として設立  
日本初の大規模製紙会社

**森林保有面積**  
7か国  
**63.6万ha**  
東京都の面積の  
約3倍

## 日本

**1兆 948億円**  
(生産拠点 99)

## 東アジア

**1,777億円**  
(生産拠点 9)

## オセアニア

**798億円** (生産拠点 16)

## 北米

**575億円**  
(生産拠点 1)

## 南米

**305億円**  
(生産拠点 4)

※生産拠点数は2025年6月末現在、その他は2025年3月末現在

## 2. 王子ホールディングスご紹介 事業セグメント

### その他

商事、物流、エンジニアリング、不動産事業、新規事業開発

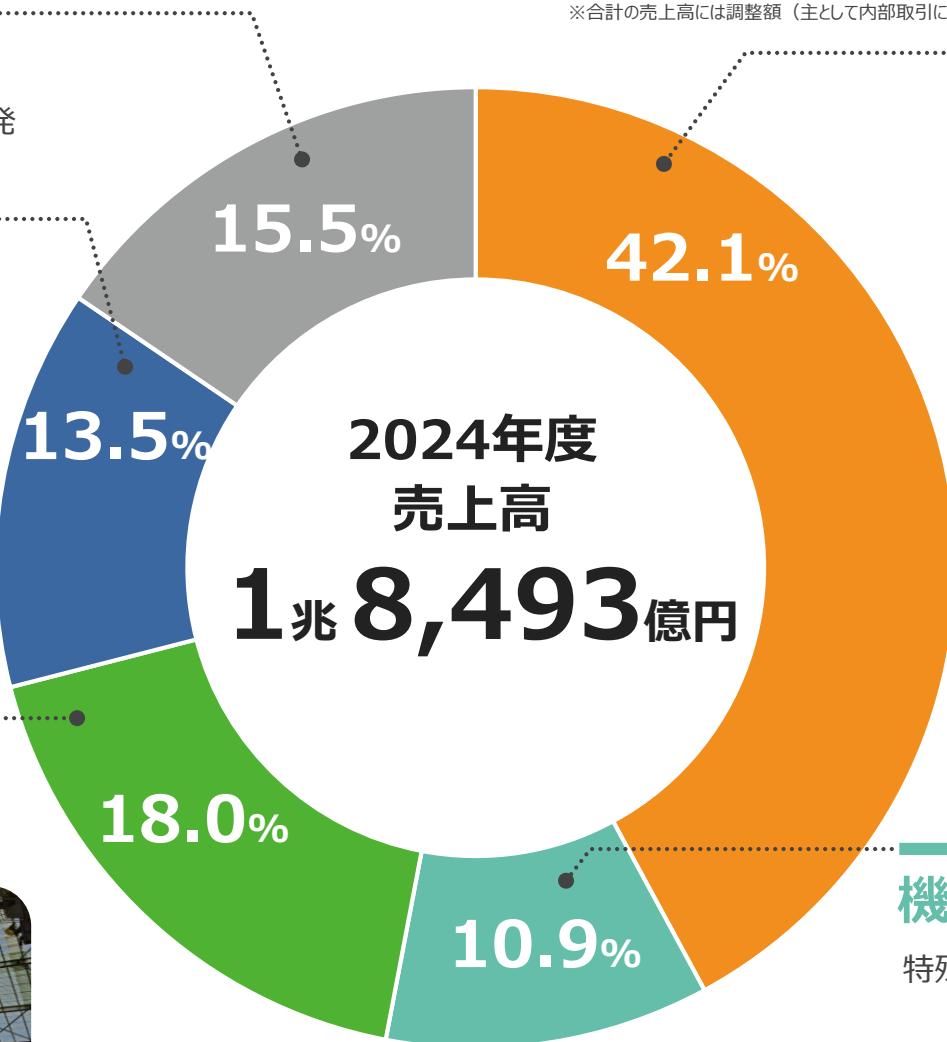
### 印刷情報メディア

新聞用紙、印刷・出版用紙、情報用紙



### 資源環境ビジネス

パルプ、植林、エネルギー、木材加工、澱粉・糖化



※合計の売上高には調整額（主として内部取引にかかるもの）を含みます。個別の売上高および売上高構成比、営業利益には調整額を含みません。

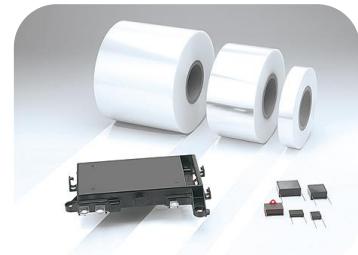
### 生活産業資材

段ボール、紙器、製袋、液体紙容器、家庭紙、おむつ



### 機能材

特殊紙、感熱、粘着、フィルム



## 2027年度ROE8%達成、各種施策を断行

### 経営指標

**ROE 8.0%** (2027年度)

将来的に更なる資本効率性の向上、ROE10%を目指す

#### 利益

連結営業利益 (2027年度)

**1,200億円**

(2025年度予想450億円)

親会社株主に帰属する

当期純利益 (2027年度)

**800億円**

(2025年度予想500億円)

#### 株主還元

配当性向 (2025年度以降)

**50%** (従来30%)

自己株式取得 (中計期間累計)

**1,200億円**※

※2024年度以降の累計1,500億円

#### 財務健全性

ネットD/Eレシオ  
**1.0倍以内**

<前提>

- 為替レート : 145円/USD
- チップ・古紙 : 現行価格ベース

- 石炭 : 足元豪州一般炭価格ベース (100USD/t)
- 重油 : 足元ドバイ原油価格ベース (67USD/bbl)

■ パルプ : 過去10年平均価格

►中国向けネット価格  
(LBKP610USD/t, NBKP710USD/t)

## 1. 株主還元

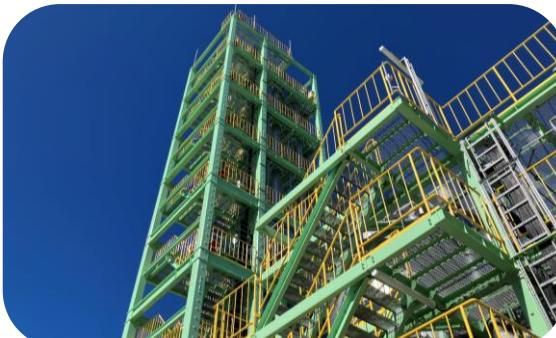


## 2. 王子ホールディングスご紹介



出典：国立国会図書館「近代日本人の肖像」

## 3. 成長戦略



※ 木質バイオマスビジネス

森林に由来するバイオマス(土壤微生物を含む)から、生物学・微生物活用  
または化学変換・高分子重合などにより、様々な高付加価値製品を生み出すこと

## 中期経営計画2027

準備期（基盤を固める）

**資本効率の改善に  
重点を置いた経営**

既存事業の  
収益力強化  
事業ポートフォリオ  
転換開始  
進化に向けた  
研究開発投資

継続して取り組み

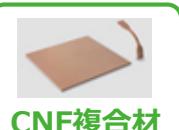
推進期（変革を進める）

サステナブル  
パッケージの拡大  
インド・東南アジア  
での収益拡大  
木質バイオマス  
ビジネス※  
の事業化開始

バックキャストで  
取り組み

定着期（成果を確立する）

サステナブルビジネス  
をさらに拡大  
木質バイオマスビジネス※  
を中核化



サステナビリティへの貢献

進化に向けて

2027年

2030年

2035年 11

さらなる  
進化へ

## 木質バイオマスビジネスの可能性

木質由来の製品を生み出し、従来、化石資源を用いていた製品を代替する

## 製紙の枠を超える！

森林資源



王子の森  
総面積  
**63.6万ha**

木材



パルプ



(微生物を活用)

糖液



バイオエタノール



紙 (既存事業)



バイオマス燃料・SAF



タイヤ・合成ゴム



バイオマスプラスチック



バイオマス医薬品



バイオマスレジスト

動画をご覧ください

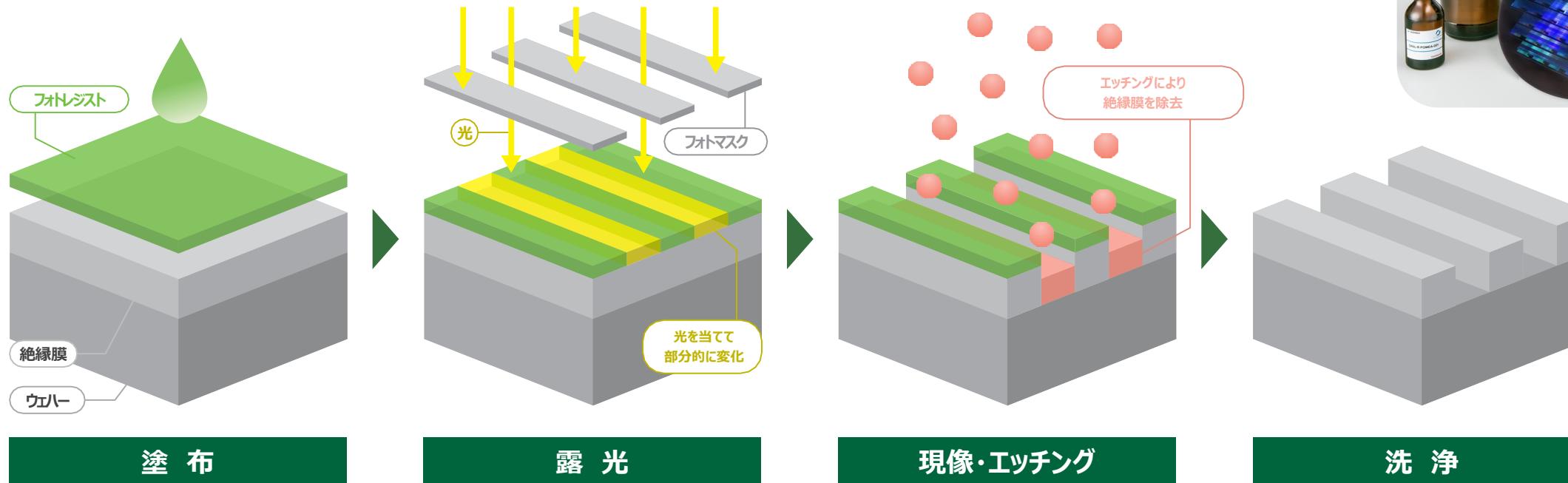


## 最先端半導体向け バイオマスレジスト

半導体の回路パターン形成に不可欠な感光性樹脂（フォトレジスト）を木質由来原料から生産

### フォトレジストとは？

- 半導体の回路パターンを形成する感光性材料。一般的にポリマーと感光剤、溶剤で構成
- 高性能化に伴い、回路パターンの微細化技術の進化が求められている



半導体の更なる微細化には、露光装置・フォトレジスト等の技術刷新が必要

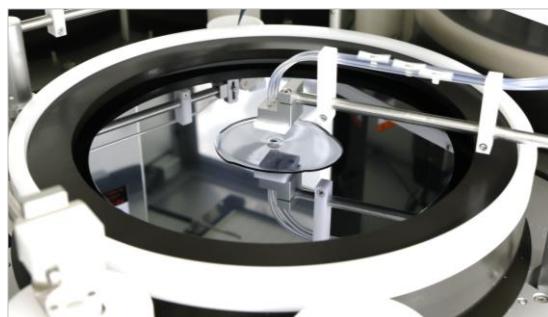
# 最先端半導体向け バイオマスレジスト

木質由来のバイオマス材料により実現した、新しいタイプのEUVレジスト

## 木質由来のバイオマスレジスト



## レジスト塗布工程



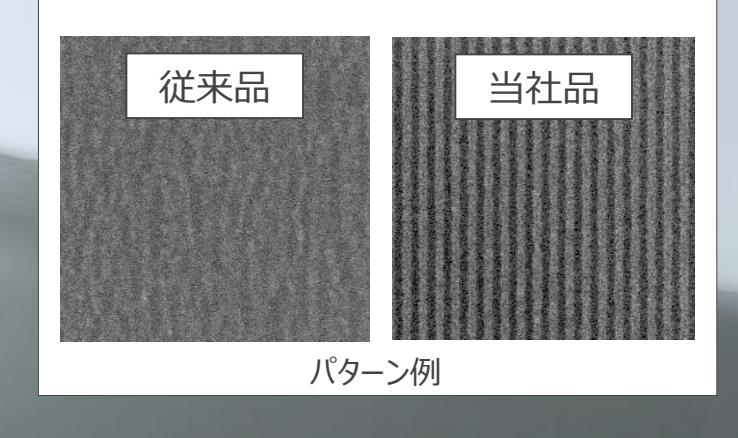
## 当社品の特長

木質由来の  
非可食  
バイオマス原料

より微細な  
次世代装置  
(EUV)  
へ対応可能

PFAS  
(有価フッ素化合物)  
不使用

高安定性  
常温での  
保管・使用が  
可能



## 木質由来の医薬品

木質成分ヘミセルロースを出発物質とし、医薬品ビジネスの立ち上げを加速

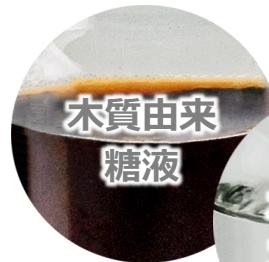


### 3. 成長戦略

## 事業化計画

### 2030年代に木質バイオマス企業へ

2025年5月 木質由来糖液・エタノールパイロットプラント竣工  
(国内製紙工場内)、エタノール出荷開始 (写真右)



2025年

事業性評価  
パイロット  
プラント建設

木質由来  
エタノール



研究開発フェーズでの顧客からの評価



2030年

本生産開始

例えば、SAF (日本)  
2030年

約5,000億円

↓

2050年  
約2兆3,000億円



2025年

薬用植物 (甘草)  
大規模栽培

動物用原薬  
承認取得

2026年

動物用原薬  
製造販売開始  
漢方薬事業の拡大

2028年

ヘパリン代替医薬品を上市  
ヒト用医薬品の販売開始

動物用 (世界)  
2025年

約500億円

ヒト用 (世界)  
2025年

約1～2兆円

## 成長投資 (M&amp;A)

## AustroCel社の買収 (2025年9月発表)

欧州（オーストリア）の先進的バイオリファイナリー企業  
売上高：168百万ユーロ（2024年12月期）=約286億円



グローバルな顧客基盤に  
バイオマス製品を展開



「日EU競争力アライアンス」参加企業として来日。当社も参加  
(2025年9月 首相官邸) 出典：[首相官邸ホームページ](#)



## 溶解パルプ® (DP)

アパレル、医薬品、  
食品、塗料等に使用

↓  
副産物を活用



## バイオエタノール

欧州環境規制への対応  
2021年に商業販売開始

木質バイオマスビジネスの中核化を加速

## サステナブル製品の拡大

サステナブルな素材である紙の強みを生かし、社会と顧客の環境負荷低減に貢献する高付加価値製品を拡販

### プラスチックパッケージの紙化

フィルム



バリア紙

ビニール袋



紙袋

プラスチックボトル



液体用紙容器

欧州包装・包装廃棄物規制（PPWR）、PFAS規制等への対応

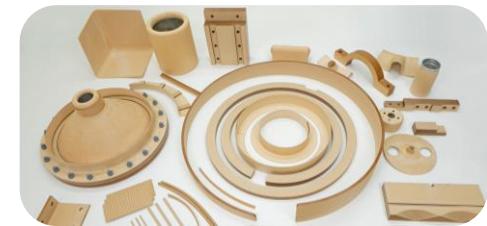
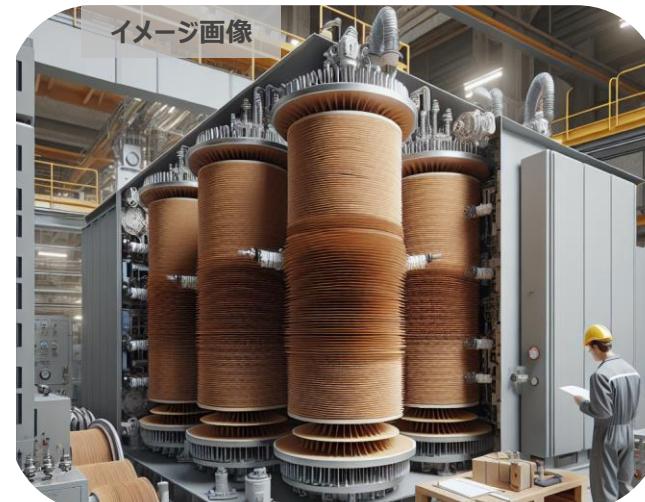


### 農業用紙製マルチシート



地温抑制効果により、収量40%アップを実現

### 大型変圧器用セルロース系プレスボード 生産設備の増設

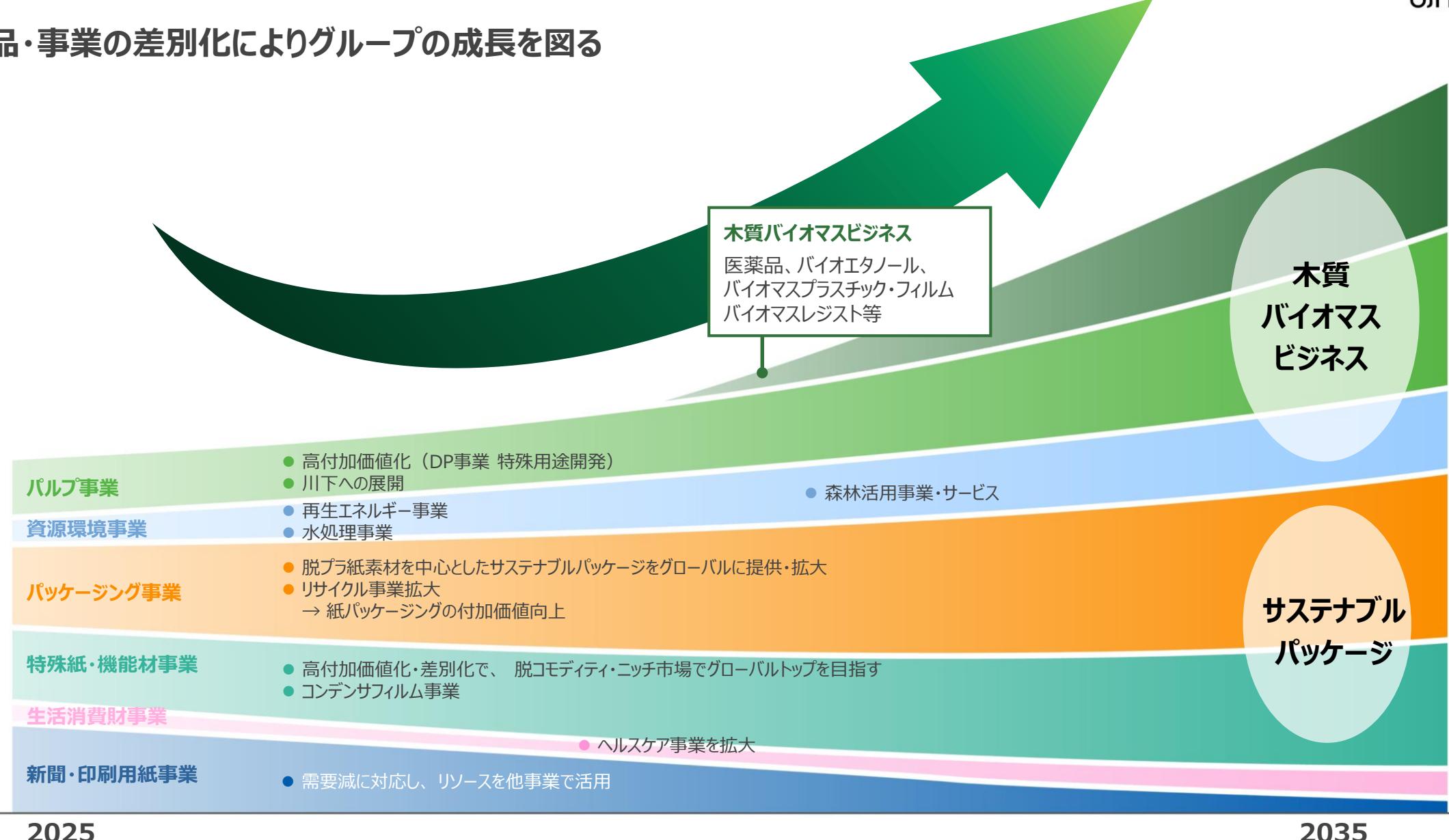


再生可能エネルギー設備の導入拡大、  
電気自動車（EV）・データセンター向け電力需要急増により  
大型変圧器需要が世界中で急拡大

2029年4月  
生産能力を現行の3倍へ

## 事業ポートフォリオ転換

製品・事業の差別化によりグループの成長を図る



## 事業構造改革

## 低収益性事業からの撤退と生産体制再構築による競争力強化

## 低収益性事業の撤退・売却基準

- 撤退検討の社内基準を設定  
(※EBITDA・ROIC・売上高営業利益率等で総合的に判断)
- 定期モニタリングにより経営判断を早期化

社内基準未達

↓ リバイバル策検討

再建案

再建進捗の定期モニタリング

社内基準未達

再建案達成

基準未達継続で  
撤退判断(売却/閉鎖)

事業を継続

## 海外

## オセアニア事業

(25年6月) 段原紙事業からの撤退完了

(25年下期) 豪州パッケージング事業の売却

## 国内

## 王子ネピア

(24年上期) 子供用紙おむつ事業撤退

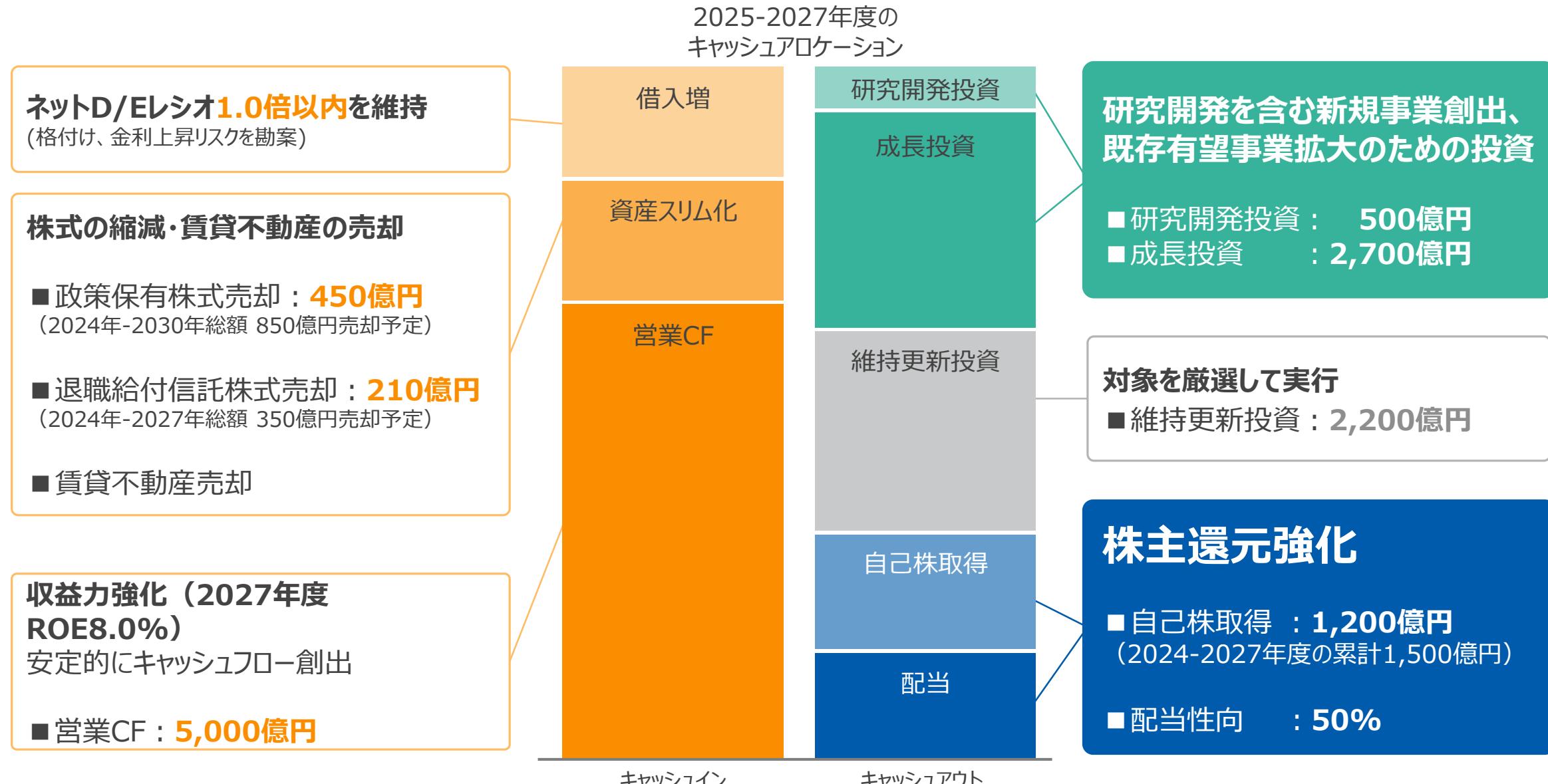
(25年上期・下期) 大人用紙おむつ・家庭紙の生産体制再構築

## 王子製紙

(25年下期) 新聞用紙生産設備(苫小牧N-4号マシン)の停止



生産体制最適化による競争力強化



王子ホールディングスについて、さらに詳しく知りたい方はこちらもご覧ください。（画像をクリック）

### YouTube動画 【投資判断に効くIR解説】 王子HD：製紙の枠を超えた戦略とは？



投資系インフルエンサー「妄想する決算」氏との対談形式で、半導体用フォトレジストやSAF用バイオエタノールなど実際の製品もご紹介しながら、製紙の枠を超えた戦略を語っています。

本編動画：<https://youtu.be/x1pJyVUDm1k>

ショート動画：[https://youtube.com/shorts/\\_dXRKD10XzM](https://youtube.com/shorts/_dXRKD10XzM)



## リンク集②

王子ホールディングスについて、さらに詳しく知りたい方はこちらもご覧ください。（画像をクリック）



[コーポレートサイト](#)



[統合報告書2025](#)



[CM特設サイト](#)



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に掲載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。

従いまして、本資料のみに準拠して投資判断されますことをお控えくださいようお願い致します。

本資料利用の結果生じいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。



Dedicated to **Sustainability**